

慶應義塾大学教職課程センター公開講演会（参加自由・無料）

## 学びから発信する元気・ともにつくる地域

～生活者として学ぶ子ども・教師・大人～

講師 **村越含博**氏（北海道公立小学校教諭）

司会 藤本和久（教職課程センター）

2011年12月3日（土）13:00～16:00

慶應義塾大学三田キャンパス 南館 2B13 番教室

これほどまで、「地域」にこだわる教師を私はついぞ見たことがない。教師はえてして学区においては「よそ者」であり、実はその地域のことはよく知らないことが多い。ましてや広い北海道。国の行政に翻弄され続けて産業が勃興したり衰退したりして、自治体としての破綻も見え隠れする厳しい現状がある地域も少なくない。村越さんは、赴任した学校でそこに生きる子どもとともに地域にどっぷりつかり、ともに学びを創っていく中で、地域の人々を繋ぎなおしたり、子どもと地域の人々が教育的関係ではなく生活者として出会いなおす場を用意したりする。その地域で生きていく（ことになる）子どもたちは、「希望」をもって自身の生活をつくる、また地域再生を担っていく礎としての経験を村越さんと一人前で重ねていく。時には、自身の家族に貫く歴史性にも気づき、時にはシャッターしか視界に入らない商店街に初めて疑問をもつ。村越さんはいう。「地域から学び、地域に実際に働きかける学びを、総合学習を中心に創ってきた。地域とは子どもや大人の生活の場である。この地域を肯定的に受け止めつつ、地域が抱える課題を、子どもは子どもなりに考えていくものだ。それをくぐることなしに、地域を肯定的に受け止め、希望を持つというのはできないのではないだろうか。『まちはせまく』なり、『学区は広がる』そういう地方の実情の中で生活する子どもたちの希望とは何かを、考えてみたい。」本研究会では、地域と学校教育の関係が一方的な「教材」関係にはとどまらない取り組みを存分に味わい、一人の「中堅」教師がどのような苦悩と喜びを感じているかに触れることにしたいと思う。（文責：藤本）

### <講師プロフィール>

北海道出身。北海道にて公立小学校教諭をつとめる。これまで、日本生活教育連盟等で数多くの総合学習の実践を提案。その記録は多くの実践書（『あっ、こんな教育もあるんだ』新評論、『いのち輝く』ルックなど）に所収。また、若手教員の研究会を北海道に立ち上げるなど、中堅世代の教師として活躍中。

JR山手線・京浜東北線「田町駅」下車、都営地下鉄浅草線・三田線「三田駅」下車、都営地下鉄大江戸線「赤羽橋駅」下車、いずれも徒歩7～8分



<主催・問合せ> 慶應義塾大学教職課程センター TEL. 03-5427-1618

車椅子等で御来場される場合は、予め御連絡いただければ係の者が構内を案内いたします。